

保護者から 自立支援者へ

未来を考えること。
それは、

答えのない問いと向き合うことかもしれません。

この移り変わりの激しい時代では、

そもそも正解をもたないことの方が多く、

見極めることが、いつそう難しくなっています。

それゆえに、お子さまにどうては、

これからたくさん悩む場面もでてくるでしょう。

そんなときこそ、「話す」ことが大切だと私たちは考えます。

この冊子では、

未来に向けた問いをたくさん提示しています。

問いは、対話を作り、

対話は気づきと安心をもたらします。

より自分らしい未来を描いていけるように。

問い合わせながらで、

少しずつ自立へと向かっていけるように。

そのきっかけとして、ぜひご覧ください。

赤土豪一（本誌
編集長）



【表紙の作品】葉っぱ切り絵アーティスト リト

一人ひとりの「個性」や「才能」を、みんなで伸ばし合っていこう—表紙の作品「みんなの夢、大きく育てていこうね」は、そんな思いを込めて作りました。この作品を作るきっかけとなったのは、以前展示会に来てくださったある保護者との会話。「息子は集団に溶け込むのが得意ではないけど、彼にしかない強みがある。それを活かしていってほしい」。その言葉に私自身強く共感し、そんな思いに応える作品を作りたいと思ったのです。作品の中のハート型の芽は、一人ひとりの「個性」や「才能」を表しています。子どもたちがお互いの強みを認め合い、引き立て合うことで少しずつ成長していく様子を表現しました。

社会の変化が激しい今、わが子の将来が心配な保護者も多いのではないでしょうか。もし進路の話題が出たときは、子どもの考えをじっくり聞いてみてください。親子がお互いの思いを知り、話を深めていけば子どもの「個性」や「才能」の芽はきっと大きく伸びていきます。



葉っぱ切り絵
メッセージカードBOOK
離れていても伝えたい
(講談社)